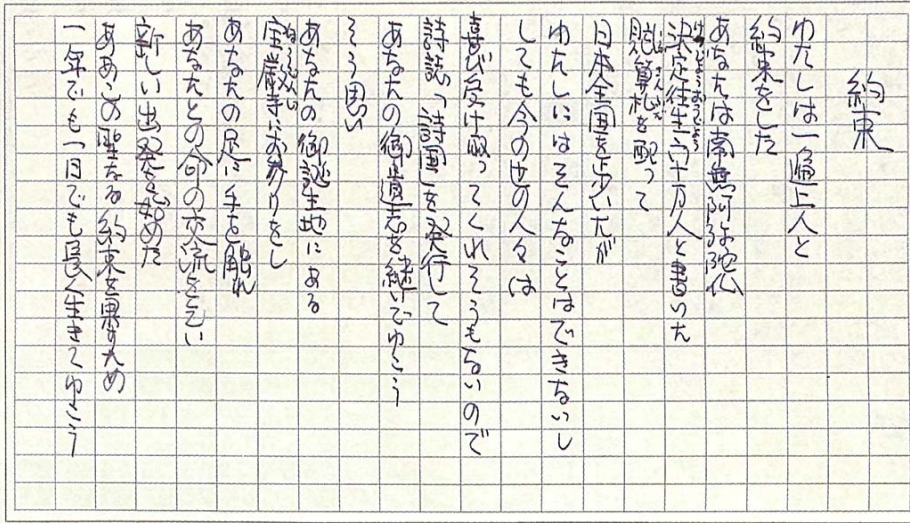


笑う門には 福来たる

（株）日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911



開館11周年記念特別展
一遍さんと真民さん
7月2日まで
坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

春はあけぼの

「春はあけぼの」で知られる『枕草子』は、夏は「夜」、秋は「夕暮れ」、冬は「つとめて（早暁）」と、一日の中で季節ごとの好ましい時を挙げています。

あけぼのとは、ほのぼのと夜が明けてくる頃のことです。寒さも緩み、日の出も徐々に早くなる頃の明け方は心が浮き立つという人もいます。

あけぼののように、日本では豊かな自然環境を背景にしながら、四季を愛でる文化が育まれてきました。特に春は、新たな生命が芽吹く季節でもあり、会社において四月は、新たな年度が始まる月でもあります。

そういった四季を愛でる際には、心に空所を持つことが大切といわれます。空所とは、仕事とは無関係の別世界のことをいいます。

例えばウォーキングや映画鑑賞など、仕事と関係ないような趣味が挙げられます。それが結果として、仕事にも生活全般にも良い影響を及ぼします。

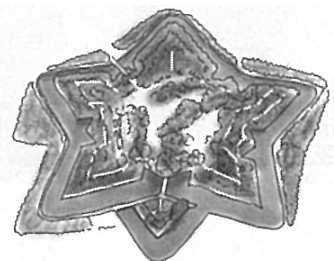
春の花や新緑を眺めることも、空所になるでしょう。そんな時間を大切にして、仕事も生活も充実させたいものです。

◆心に空所を持ちましょう

「職場の教養」より

五稜郭（北海道函館市）

外交機能を備えた奉行所として徳川幕府が整備した五稜郭は皮肉にも幕府が倒される戊辰戦争の最後の戦場となった。美しい星形に整えられたその全貌は地上からは確認しづらいが、南側にある高さ90mの五稜郭タワー展望フロアからなら一望できる。冬には「五稜星の夢」と称したイルミネーションが飾られ、堀に沿ったライトアップで星の形をした光のラインが浮かぶ。白い雪に光が反射し、函館市街の夜景と共に、ここでしか見られない絶景を作り出す。



日本再発見！

保親さんの人生万感

春くれば北に帰れぬ白鳥は
堀に飼われて遠き空見る

あの日から苦楽かさねて老いの春
花幾度か二人で見んか

愛するから愛される

理解しようとすれば理解され、嫌えば嫌われる。「する」から「される」と心得て行動すれば、いつも人間関係はスムーズだ。

